

第38回 東京成徳短期大学 保育研修会

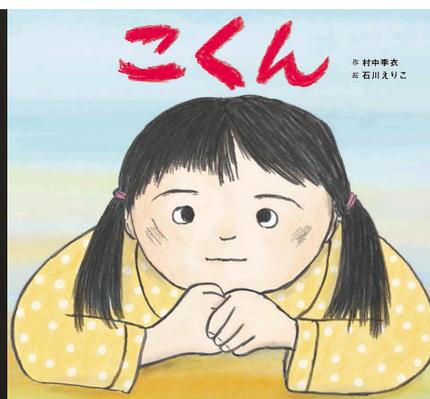
参加費
無料

「読みあい」で、ひびきあう保育を
—絵本を介して心と心がつながる時—

2025年
7月19日(土) 村中李衣先生

13:00~15:00

児童文学作家
山口学芸大学 客員教授



▲村中先生のご著書（一部）。写真左から『はだしであるく』石川えりこ絵・あすなろ書房、『いちごハウスのおくりもの』えがしらみちこ絵・世界文化社、『うさぎになった日』しらとあきこ絵・世界文化社、『こくん』石川えりこ絵・童心社。

みなさんは日々の実践の中で、どのように子どもと絵本の世界を共有していますか？ 今年度は児童文学作家として多様なフィールドで活躍されている、村中李衣先生をお招きします。先生が長年にわたる絵本の「読みあい」活動を通して見出された真のコミュニケーションのあり方を、あなたも共に学んでみませんか。



TOKYO SEITOKU
COLLEGE

東京成徳短期大学 保育研修会担当

114-0033 東京都北区十条台1-7-13

URL : <http://www.tsu.ac.jp>

●幼児教育科特設サイト <http://www.tsu.ac.jp>

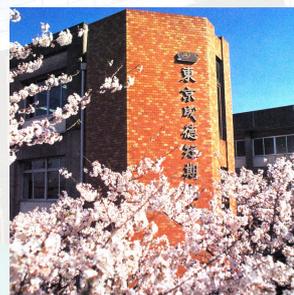
お申し込みはこちらから！



● 研修会に関するお知らせや最新情報はホームページに掲載いたします ●

東京成徳短期大学は

「成徳」（徳を成す人間の育成）を建学の精神とし、「学問研究」、「人間形成（知識を豊かにし教養を積む）」、「専門的技術教育（職業人の育成）」という3つの教育目的を掲げ1965年（昭和40年）に開学しました。幼児教育科は開学の翌年に開設され、半世紀以上にわたって学生一人ひとりの特性を伸ばす教育を大切にしながら、社会のニーズに豊かに応えられる資質の高い保育者を養成し、社会に送り続けています。



旧校舎と桜の木

保育研修会とは

1987年（昭和62年）に「望ましい保育の確立をめざして」をテーマに第1回が開催されて以降、今日まで継続的に開催されています。当初は本学の卒業生を対象に「懐かしい学び舎で恩師と語りながら共に学ぶことを支援する場」として、リカレント教育の役割を重視していました。しかし、回数を重ねるごとに多くの現場で働く保育者が参加されるようになり支持を得たことから、保育界に貢献すべく受講対象を広げ、現在では卒業生以外にも多くの先生方にご参加いただいています。

子どもを取り巻く環境が目まぐるしく変化する今日、保育・幼児教育の原点に立ち返り、広い視野を持って、本質的な観点からそのあり方を見極めていくことが求められています。そのため毎年、テーマを変えて多様な視点から学ぶことができるようなプログラムを用意しています。これまで培ってきたものを引き継ぎつつ、保育の未来のため、東京成徳から新しい風を送りたいと願っています。



十条台キャンパスの様子

過去にご参加の方々からは「日々の保育実践を見直すきっかけになった」「学び続けることの大切さを再確認できた」「自園での取り組みに自信を持てた」「毎日の保育では悩みや迷いも多いが、前向きになれた」など、嬉しいお声を多くいただいております。簡単なことばかりではない保育に日々向き合う方々の学びの場となるだけでなく、心の支えとなれるような会に今年もできれば幸いです。



TOKYO SEITOKU
COLLEGE

東京成徳短期大学 保育研修会担当

114-0033 東京都北区十条台1-7-13

URL : <http://www.tsu.ac.jp>

● 幼児教育科特設サイト <http://www.tsu.ac.jp>

お申し込みはこちらから！

